

2019年度(令和元年度) 事業報告書

2020年2月

滋賀県大津市大萱六丁目1

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事 黒田 士朗



2019年5月6日 朝日レガッタ 女子2X 優勝

[1] 2019年度活動報告

1特定非営利活動

2019年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

- 1.全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
三大事業に集中して運営を進める。より良い倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
- 2.安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
- 3.保全 整理整頓という基本的な事を行う為、徹底的に管理する。
- 4.施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。芝生の整備。
- 5.事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
- 6.特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
近畿マシンローイングA大会を運営し、参加者1,000人以上。
三大事業合計150万円以上の収支を得る。
プロ(有給)コーチによる、小学生ボート教室や会員向けコーチングを継続・拡大する。
- 7.普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
- 8.収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
- 9.財務 正・賛助会員拡大に向けてのツール作成。会計フローの整理・定着化。
- 10.広報 月一回の確実な会報発行。漕艇通信500号記念誌の発行。
- 11.活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。
杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

【総括】

2019年度は1月に900名を越す参加者を集めた全国マシンローイング大会近畿大会にスタートし、びわこ市民レガッタ、Head of The Seta の三大事業を中心に取り組んだ。各事業の詳細は後に各事業担当より報告。ジュニアボート教室、「しがスポーツ大使」として冬季のマシンローイング教室も継続的に実施。ホストタウン交流事業は最終年度となる。

三大事業であるマシンローイング大会、びわこ市民レガッタ、Head Of The Seta、による収益は、昨年度より75万円増の223万円(助成金等を含む)となり、目標の150万円を超え、目標以上の利益を確保した。いずれの事業も多くの人達に参加いただける魅力ある大会であること、効率的な運営ができていること、すなわち実行委員を中心に多くの倶楽部員の努力が、この結果につながっていると考える。しかしながらここも一部のクラブ員への負担増加は避けられず、今後も多くの会員の皆さまの支援・応援を願いたい。

競技活動に関しては、杉藤コーチの指導も4年目になるが実業団チーム、大学運動部に比べ制約も多いが、インターハイチャンピオン、全日本女子1×2位等の実績、高校生チームの底上げを図る。

朝日レガッタ女子2×(西原、嶋)で優勝を飾り2連覇。全日本選手権では女子1×(西原)が準優勝。高校総体においては男子1×(林)が優勝と活躍を見せる。両名共、登録チーム名は当倶楽部ではないが、同じクラブで練習するメンバーの活躍は喜ばしい。朝日レガッタ、全国社会人等において混成クルーであるが当クラブブレードで各地で活躍。マスターズにおいてもワールドマスターズにて安達さんがワールドチャンピオンとなる。

杉藤コーチによる指導体制をさらに強化し、倶楽部設立当初から掲げている「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」を実現するため「チャンピオンクルーの育成」の取り組みを着実に前に進めることが、当面の課題である。その為には、コーチや選手の努力だけでなく、多くの会員の積極的な支援・応援が必要である。多くの会員が支援・応援したくなるようなチームであること、そう思えるような選手達の熱意や行動が必要であると考えらる。

2019年度は多くのお客様を迎えた。各種大会におけるお客様以外に世界ジュニア選手権出場のためNZのJrチーム、ロシア連邦法務大臣、NHK取材等を迎える。2020年度は1月にNTT東日本漕艇部を受入れ、7月にはオリンピック事前合宿としてNZチーム受入れを杉藤さん田中さん中心に交渉中。

2019年度のNPO事業での固定資産取得を含む経常収支は147万円の赤字予算であったが19万円の黒字となる(キャッシュフローベースでは予算153万円、決算340万円)。アネックス外壁や屋根塗装の未実施もあるが、会員全員での収益事業の増加に加えて小さな節約の積み重ねに拠るところが大きい。

2019年度末の会員数は、正会員166名、賛助会員69名で、昨年度末から正会員は1名増加した。新入会員も20名の入会があるが入会后あまり活動することなく退会したり、未経験者の新入会員も増加しており新入会員に対するケアが必要、喫緊の課題であると認識している。倶楽部の活動を積極的にPRし認知度を高める、認定NPO法人への寄附金優遇税制の周知をするなど、私たちに支援いただける賛助会員すなわち瀬田ローファンを増やす取り組みが必要である。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

全国マシローイング大会近畿大会(2019年1月20日)

今大会も、ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)で開催。本大会は、過去最高の941名の事前エントリーがあった。今大会では、デンマークから5大会連続五輪メダリスト(アトランタ五輪・アテネ五輪・北京五輪金メダリスト)のEskild Ebbesen選手が参加し、大きな注目を浴びた。さらに、「ホストタウン滋賀交流推進実行委員会」の交流プログラムとして、デンマークから全国マシローイング大会2大会連続チャンピオンのMark Hartsteen選手を含む選手5名とコーチ2名が来日となった。

また、演出部門では、MCを仙石幸一さんに、照明をEGSさんに依頼をし、今までよりもさらに力を入れた。他にも、飲食ブースの出展や関西学生ボート連盟との協働で、大学交流ブースも昨年に引き続き設置した。これからも、日本で最も活気のあるMR大会として、他の大会をリードする大会でありたい。

そして、今大会では、スポンサーである、スターライン株式会社さまより、男女の日本人トップタイム各1名を、2月に行われるWorld Indoor Rowing Championshipsへ招待していただくことになり、男子は戸田中央総合病院の勝又選手、女子はデンソーの上総選手が選ばれた。また、今大会より、メインレースの際は、大会スポンサーのロゴをレースゾーンの周りに掲示し、スポンサーのアピールにも努めた。

他にも、Cox最速王・スライドエルゴ対抗戦という新たな種目も実施し、当日の会場はもちろん、SNSでも大きな注目を浴びたり、滋賀レイクスターズさまからのご依頼で、ゲームコンダクター(スポーツボランティア)を5名受け入れ、ボート関係者以外の方からもご協力を頂いたり、新たなことにもチャレンジをした。

さらに、マシローイング大会だけでなく、海外招待選手との交流も大会前後に行った。1月14日(月)に、瀬田中・瀬田北中・レイクスジュニアボート教室との交流事業を行い、約140名の小中学生がデンマーク選手と交流をした。夕方には、Furukawa Houseにて、デンマークからの招待選手のウエルカムパーティーを実施し、倶楽部員との交流も行った。当日は、エルゴ組と陸上トレーニング組に分かれ、それぞれにデンマーク選手が付き、指導にあたった。また、大会翌日の1月21日(月)にクラブハウスにて、地元高校生と中野選手との交流事業を行い、膳所高・大津高・瀬田工より約40名の高校生が参加をしてくれた。

海外招待選手に関わる事業も含む、全体での収入は348.7万円(昨年264.5万円)、支出は252.6万円(昨年207.0万円)で、収支は96.0万円(昨年57.5万円)であった。ホストタウン交流事業の委託費の影響もあり、収支が昨年よりも大幅に増加をすることができた。ただ、現在は滋賀県からの委託費で収支を増やし

ている状況なので、エントリーの増加やスポンサー獲得で収入を増加させ、安定して収益が出せる大会運営に切り替えていく。

※収支の額は助成金や付随事業の収支を含む

第14回びわこ市民レガッタ(2019年9月1日)

本年は、市民(オープン)の参加が前年より減少したが、OB/OGクルーの参加が増加して前年比1クルー増の91クルーのエントリーであった(棄権1)。

本年は初心者クルーの参加数がやや持ち直し、参加者のそれぞれのスタンスで楽しんでもらえたと考えている。反面、優勝クルーが固定化してきており、次回に向けてカテゴリー・組合せの再検討が必要である。また昨年の反省から、駐車場の整理員を外注しクラブ員の負担を減らすことができた。

運営面では、いろいろな方のご協力を得て、マコンオールを増備できた。クラブの大切な備品として大事に使用していきたい。本年は運営の段取りが悪く、細かいところでミスが発生していたことを反省している。今一度運営上の課題を洗いなおして、対策を講じていきたい。

収入は100.3万円(昨年95.8万円)、支出は61.9万円(58.2万円)で、収支は38.4万円と昨年の37.6万円をわずかながら上回った。駐車場整理員の外注費のため支出額が増加したが、協賛金も増加したため収支を昨年とほぼ同額に維持することができた。

次回(2020年)は、漕艇場の改修のため船台が4つしか使えず、大会の運営方法や参加クルー数の抑制を検討する必要があり、収支を維持・向上するためコストカットや参加費の値上げを検討したい。

本年は68名のクラブ員に当日のスタッフに従事していただいた。また無料練習会や前日準備・練習会にも多数の対応をいただいた。次回も引き続きご協力をお願いいたします。

第28回 HEAD OF THE SETA(2019年11月16日、17日)

瀬田川のNo.1(チャンピオン=ヘッド)を決める瀬田川往復の長距離レース(R1スタート～平津折返し～R1、約7km)を2日間に渡り開催した。延261クルー、616人のエントリーを受け付けた。初日はシングルスカル、舵手付きフォア、カヤックシングル、カナディアンシングルなどのレースを中心に行った。初日のレース後にはFurukawa Houseにて懇親会を開き参加者の親睦を深めた。2日目はクルー種目やドラゴンボートのレースを開催した。また、今大会からSUP部門をカテゴリー化し、1クルーのエントリーを受けた。

昨年度、コースについては瀬田川河川工事の影響のため、ゴール地点を例年のR1ではなく、100m程手前の唐橋公園前広場に変更したが、今年度は工事終了に伴い、元のコースに戻して実施した。

次年度に向けては、今年度もレース中の接触が数件あり、安全上の観点での検討及びスタッフの役割の再検討が必要と考える。また、動力船(観光船)運行方法は変更となったが、先方と打ち合わせを行い問題なく実施することができた。その他、当日エントリーの再実施や中学生シングルスカルの無料化(上限有)は実現できたが、次年度も引き続きドラゴンボート借艇料の徴収実現を考えたい。

今年度から収入の最たる部分を占める出漕料を一律2,000円(+500円)とした。その結果、会計上の大きな混乱はなく、収入増に大きく貢献することができた。収入131.0万円(前年比+20万円)、支出42万円(-3万円)、収支89.3万円(同+24.9万円)の成果を挙げた。次年度もより参加したいと思われる大会にしていきたいと考える。

偏に多くの皆様のご協力で実施することができているが、各日60人程度のスタッフ参加が必要と考えており、スタッフ不足は否めないため、更なる協力を望みたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

ボート競技では朝日レガッタ、高校春季総体、関西選手権大会、高校夏季総体、滋賀県県民体育大会、滋賀県ジュニア選手権、かいつぶりレガッタ、京都レガッタ、高校秋季総体に、審判を派遣した。また、大津市民レガッタでは、多くの会員がボランティアスタッフと大会を支えた。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

① セミナー・講習会の開催

2019朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会(近畿地区)(2019年5月4日)

朝日レガッタ開催に合わせてコーチセミナー兼公認スポーツ指導者更新講習会を開催した。今年のテーマは1.アンチドーピング、2.チーム運営におけるコーチの役割、3.UNIVASの仕組みの3つとした。いずれも、現場で役立つ情報が多く、ボート界の将来も考えるきっかけになった。参加者は一般22名、公認指導者21名。参加費等収入11.5万円 経費支出9.2万円、収支は2.3万円となった。内容は以下の通り。

『アスリートなら知っておくべきアンチドーピング』 講師:高谷 麻紀氏

『やる気を引き出すアプローチ』 講師:岩畔 道德氏(明治安田生命ボート部 部長兼GM)

『大学スポーツから日本を変える!“UNIVAS”の可能性』

講師:山本 達三氏(びわこ成蹊スポーツ大学 准教授)

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室(2019年5~11月毎月第2、4日曜日)

5月から11月の間に、初心者を対象にした体験教室を開催し、ボートでは、延べ約90名の利用があった。最初にエルゴメーターを使用して基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に乗艇での指導を行い、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。また、びわこ市民レガッタの練習として利用する参加者も多く、上位入賞を目指して複数回利用いただいたクルーも見受けられた。体験教室に参加後、入会される方もおられ、新規入会のひとつの入り口となっていると考える。

また、ドラゴンボートでは、大会の練習を目的として、約70名の利用があった

ひきつづき、水上スポーツの魅力をしっかりと伝え、幅広い年代の会員増につなげられるよう貢献していきたい。(収入実績:2017年32万円、2018年21万円、2019年22万円)

ドラゴンボート体験(セタジミ祭2019年4月27日)

今年のセタジミ祭は、北西の強風で瀬田川でも白波が立つ中での開催となった。水上は、あいにくのコンディションとなり瀬田RCが担当するドラゴンボート体験コーナーは中止、漁船でのシジミ掻き体験などの水上活動も中止となった。倶楽部から12名を動員、大津市のドラゴンボートチーム「小寺製作所」「池の里 レイカーズ」の皆さんからも18名を動員して頂き、お弁当の配布係を担当し参加者の皆さんと交流した。

セタジミ祭実行委員会(瀬田漕艇倶楽部も構成員)は、令和元年度のハン六地域振興賞を受賞した。

ジュニアボート教室

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで実施している地域の小学生対象のボート教室。昨年度は、11名だった教室は、今年は7名で実施した。今年度より中学生の部を廃止しているため、人数は減少している。小学生のシーズンについては、4-10月で実施し、冬季の12-3月は、月2回程度で開催。

事務局としての仕事をレイクスターズが担い、指導面を杉藤コーチが中心に、スタッフ調整を猪飼さんが中心となり、マネジメントを行なって実施した。

毎週のアシスタントが不足する事もあり、小学生の受入可能人数は10名未満が現状である。アシスタントの人数の増加とともに、猪飼さんが行なっているようなアシスタント調整等のマネジメントを行える人材を確保していく必要がある。

ジュニアボート教室の指導内容については、杉藤コーチのバリエーションある指導内容を基に、毎回充実した指導を行えている。

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

① 安全講習会の開催(開催回数:2回)

実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。

琵琶湖における航路の確認と瀬田川航行ルールの確認。

- ② 沈回復練習会実施。
- ③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。
→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会に10名程度参加。(12月14日)

アクシデント・レポートの作成(随時)

乗艇中に事故を起こした会員は、アクシデント・レポートの提出。
今後、安全講習会や機関誌を通じて周知したい。

沈回復練習会

沈からの再乗艇経験がなく、シングルの乗艇を希望する会員を対象。
2020年度については、安全担当理事が立ち会わずとも、安全に配慮しながら実施できる方法を検討。

安全規則

2019年度に改正済の全開放流時のルールを修正。

改正前: 洗堰全開放流の場合は瀬田川での練習禁止



ただし、モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

改正後: 洗堰全開放流の場合は乗艇禁止。

ただし、①モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

②一定の条件(※)を満たす漕手については特に認める。(琵琶湖のみ)

※A:クラブ内もしくは県ボ主催安全講習会参加

B:エルゴスコア2000m8分45秒以内

C:1×での1000mタイム5分以内

上記ABCを全て満たす場合は理事承認の下で認める。

②については、クルーボート乗艇については、クルー全員が条件を達成できていること。

(通常の練習の範囲内で達成できていれば、そのスコア提示すればOKとする)

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

練習中に仲間を亡くすという悲しい過去の経験を二度と繰り返したくないという思いから、平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

以下自主ルールの抜粋

- ① ヤフーなどの天気予報で朝の9時が5度以下 乗艇禁止
5度以上 水温10度以下 シングルスカルはコースのみ
- ② 乗艇前にストレッチ エルゴで体を温める
- ③ 携帯 ホイッスル 所持
- ④ 救助方法の確認 漕艇場 か 救急車か
- ⑤ 注意報の確認 低温注意報は乗艇禁止

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」(会報)の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

2019年度 朝日レガッタにおいて女子ダブルスカルが2連覇を達成、全日本選手権では瀬田漕艇倶楽部としては結果はでなかったが株式会社プリントパックとしては女子シングルスカルにおいて準優勝

社会人選手権においては、経験豊富なメンバーとの混成により女子クオドルプルにおいてメダルを獲得
またオックスフォード盾レガッタに3年ぶりに出場 準決勝敗退だったが、社会人比率が高い中 クラブとしてのクルーボートという形を作っていた。

ジュニアにおいては、男子シングルスカルが高校総体優勝と活躍を見せる。

高いレベルでのトレーニングが継続的に出来るよう、メンバー同士での切磋琢磨できる環境作りが課題である。

(6) その他の活動

① プロコーチ杉藤氏によるコーチング

年額270万円(年300セッション)を毎月按分する形で、杉藤コーチにお支払いをしている。シーズン中は週6回1時間半～2時間程度のコーチングの日を設置。マスターズメンバーへのコーチング(週1回)、選手チームのコーチング(週2回)及び年間のメニュー等作成、ジュニアボート教室でのメインコーチとして活動(週1回)以外に、高校生を対象に、毎週月曜日と木曜日の夕方にコーチング(週2回)をしていただいている。また、今年度は、不定期で週末しか参加できない会員に対してのコーチングを実施した。

毎月の活動内容(指導方針・指導日数)については、杉藤コーチより月報を提出していただいているが、現状の運用の課題や選手からの要望などを伺いながら、コーチングの内容について随時協議を進めながら運営を行っていく。

② 全員集合日の実施

月例全員集合日を実施した。清掃/艇整備/施設補修などをおこなった。昨年度の様な大きな台風被害や大規模な施設の改修等はなかったので、艇庫内の整理、特に使用頻度の低い艇を高所に移動する等のレイアウト変更を数回に分けて実施した。

③ 施設関連実施事項

④ 日常のメンテナンスを実施した。各所不具合対応、備品の購入、駐車場サイン設置、クラブハウス内掲示板設置など

⑤ 大会への役員派遣

関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。

⑥ メディア出演等

⑦ 1月3日 朝日新聞 27頁 地域面 漕ぎ出す新年気分も爽快 琵琶湖にボート愛好家 ※イノシシの衣装を着て新春初漕ぎ会に参加した山崎さん達の写真を掲載

1月21日 京都新聞 22頁 地域面 白熱マシンローイング 五輪メダリストら930人参加
※自己ベストを更新した東田選手のコメントを掲載

1月23日 高校野球ドットコム マシンローイング全国大会近畿ブロック大会が開催!

1月28日 FISA(国際ボート連盟)HP

Olympic aspirations and Olympic legends at Japan's indoor championships

※FISA(国際ボート連盟)HPトップニュースに近畿マシンローイング大会を紹介

3月10日 京都新聞 30頁 社会面 トップ選手と交流 大津 ニュージーランドのボート

※ニュージーランド代表の東京五輪事前合宿地に大津市が決まり調整を行う杉藤洋志さんを紹介

ROW360 Issue26 2月・3月号 近畿マシローイング大会を紹介

4月11日 KBS京都(京都放送) 京スポ スポツ♡chu

※全国高等学校選抜ボート大会で準優勝した林颯一郎選手を紹介

3月31日 日本ボート協会 月刊Rowing No552 ※全国マシローイング近畿ブロック大会が表紙に掲載

4月22日 日経産業新聞 2021年ワールドマスターズゲームス関西大会「ついで観光」特需期待

※ワールドマスターズゲームスに出場経験のある下村さんのインタビューを掲載

8月30日 KBS京都 newsフェイス ボート女子シングルスカルで東京五輪を目指す西原佳さん

※今春入会し、五輪を目指す西原選手を紹介

9月23日 中日新聞 8頁 地域面 逆風に苦戦も逃げ切り

※びわ湖レガッタをマスターズシングルスカルで優勝をした田中彰さんのインタビューを掲載

2収益事業活動

朝日レガッタでのTシャツは会員の中原理歩さんのデザインが今年も好評、色の変化も持たせ完売。7.3万円(昨年11万円)の利益を得る。エルゴはマシローイングの払い下げにより、3.7万円(昨年6.2万円)、ニールセン商品は5.4万円(昨年5万円)の利益を得た。

最終的な粗利は35.5万円で目標の40万円に対して67%達成した。朝日レガッタでのTシャツ販売は、Tシャツのデザインで、大きく販売が左右され、デザインによって注文枚数を変えるフレキシブルさが必要。朝日レガッタ出店においては毎年問題となっていたがレンタル活用。イベント時での販売では会員の協力は不可欠。

通常の商品販売では、ネット販売を継続し、できるだけ労力をかけずに事業を継続していく。

今年度は漕艇場建設の時期の関係で出店用地が確保出来ない可能性大であり、収益の大きな柱を失う可能性大。今後、可能性のある事業を見出した場合、会員への協力を依頼し、その事業に注力するといった体制を取っていきたい。

2019年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
1/20(日) 大会前後数日	滋賀県立体育館	第31回全国マシローイング 大会 近畿ブロックA大会 (ホストタウン交流プログラム)	約100名	参加者941名 交流プログラム選手5名 中学生ボート部員140名 高校生ボート部員40名
2/24(日)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席54名 委任38名	正会員165名
4/27(日) 荒天のため一部中止	瀬田川	第34回セタジミ祭	12名	一般市民300名
5/4(土)	瀬田漕艇倶楽部	コーチセミナー		公認指導者21名 一般22名
10/12(日) 荒天のため中止	大津市なぎさ公園	第3回びわ湖ユニバーサルウオ ーキング大会(しがスポーツ大使)		
9/1(日)	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	第14回びわこ市民レガッタ (前日練習会)	68名	一般市民約450名
11/16(土)-17(日)	瀬田川	第28回Head of The Seta	約100名	参加延人数616名
12/22(日)	瀬田漕艇倶楽部	クリスマスパーティー		正会員およびその家族
5~11月 第1,3日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室 (ドラゴンボート利用含む)		一般市民160名 (内ドラゴンボート70名)
4~10月 12月- 冬季練習	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	ジュニアボート教室		地域小学生7名

倶楽部会員数

	会員数 2018年12月31日	1年間の入会数	1年間の退会数	会員数 2019年12月31日
正会員(家族会員)	165 (23)	20(7)	19 (4)	166(26)
賛助会員	67	5	3	69
合計	232 (23)	295(7)	22(4)	235(26)

2019年度競技活動結果

☆全国マシンローイング大会関東ブロック大会☆ 12月23日

男子50歳～59歳オープン 京基樹 7分04秒4(パルテ会)

☆全国マシンローイング大会近畿ブロック大会☆ 1月20日

女子16歳～18歳 Amalis Brems (DEN 招待選手)7分28秒9、嶋美陽 8分04秒9

男子16歳～18歳 林颯一郎 6分54秒8、林晋作 7分18秒7、東虎太郎 8分12秒2

女子19歳～29歳軽量級 Anne Katrine Kiilgaard (DEN 招待選手)7分33秒9、
Stine Mathiasen (DEN 招待選手)7分58秒0、坂東珠衣 8分29秒0

男子19歳～29歳軽量級 東田和季 6分34秒8、和田優希 6分45秒5、高谷祐毅 7分16秒3

女子19歳～29歳オープン Cecilie Girke (DEN 招待選手)7分36秒4

男子19歳～29歳オープン Mark Hartsteen (DEN 招待選手)6分08秒4、南條翔也 6分37秒9

男子30歳～39歳軽量級 椎名孝行 6分43秒4

男子30歳～39歳オープン 奥村強司 6分52秒4、Martin Schjerning(DEN 招待選手)6分42秒2
丸岡真太郎 7分09秒3

女子40歳～49歳軽量級 築山容子 9分43秒8

男子40歳～49歳軽量級 大越将洋 7分31秒2、狩谷悟史 7分35秒4

男子40歳～49歳オープン Esklid Ebbesen(DEN 招待選手)6分32秒8

男子50歳～59歳軽量級 今城律雄 7分44秒6、木所昭彦 7分53秒7、太田俊二 8分02秒3

男子50歳～59歳オープン 京基樹 7分10秒0、黒田士朗 7分14秒4、鷹野一郎 7分15秒0、
鵜瀬正樹 7分34秒9

女子60歳～69歳軽量級 長瀬伸子 9分08秒0、尾崎幸代 9分19秒7

男子60歳～69歳軽量級 尾崎準 8分00秒1、青木博 8分00秒2、植田健三 8分04秒3

渡辺道則 8分40秒2

男子70歳以上 安達温二 7分28秒7

コックス最速王決定戦 今村拓也(琵琶湖ローイング CLUB)1分52秒1 ※500m

☆全国高体連通信制20分エルゴ記録(2月度)☆

男子 林颯一郎(東山高校) 5,572m14位、林晋作(瀬田工業高校)5,130m579位、柿木智喜 5,128m583位
井上日向 4,947m1049位 ※順位は全国順位

☆U19日本代表候補参集選考2000mTT☆ 3月11日

男子1× 林颯一郎(東山高校)23位

☆全国高校学校選抜ボート大会☆ 3月20日～22日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 準優勝

☆西日本選手権☆ 4月20日～21日

男子1× 南條 4位、山口将 7位

女子1× 西原(プリントパック) 優勝、嶋 4位

男子2× 椎名孝 井原 4位

男子1×50歳以上 田中彰 優勝、安達 準優勝、太田俊 7位

☆朝日レガッタ☆ 5月3日～6日

男子1× 南條 準決勝3位、奥村 準決勝4位

女子1× 今村美(香川大学) 準決勝4位

高校男子1× 林颯一郎(東山高校) 優勝

男子1×50歳以上 黒田 3位、太田俊 予選4位、鵜瀬 予選5位

男子1×60歳以上 安達 優勝、下村 3位、渡辺(NEPTUNE W) 予選4位

男子2× 狩谷 田中 準決勝5位、武良誠(BOMBERS) 準決勝6位

女子2× 西原 嶋 優勝

高校男子2× 東虎太郎 武良大河 敗者復活4位

中学男子2× 武良陽河(BOMBERSジュニア) 予選4位
男子4+ 橋爪 和田 倉本 準優勝
女子4×+ 猪飼(琵琶湖ローイングCLUB)敗者復活2位
マスターズ50歳以上男子KF 中村眞 宇野 佐々木高 三反崎 尾崎準 4位、今村拓(びわろーZ) 3位
マスターズ40歳以上女子KF 太田弘 三登 長瀬 木下 尾崎幸 準優勝
中さやか(なでしこohバーン) 優勝、ショーバック真理子(BLクラブイエロー) 4位、
東暢子(BLクラブレッド)予選4位

パラローイング 今村拓(くれおB) 7位

☆京都府高校総体ボート競技☆ 5月18日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 優勝

☆大津市民レガッタ☆ 5月19日

熟年男子 中村眞 安達 下村 岩見 田中彰 優勝

熟年女子 太田弘 長瀬 尾崎幸 木下 三登 優勝、ショーバック真理子(BLクラブイエロー) 3位

壮年男子 杉森(TMTファイバーズZ) 優勝、山口将(びわこボーイズX) 6位

壮年女子 東暢子(BLクラブレッド) 準優勝

オープン男子 今村拓(びわろーZ) 優勝

オープン女子 今村拓、坂東(びわろーイエローラビット)優勝

オーバー60 中西、木村祐、上坂、小島、中出 準優勝

☆全日本選手権☆ 5月23日～26日

男子1× 山口将 敗者復活C組4位、椎名 敗者復活D組5位

女子1× 西原(プリントパック) 準優勝、嶋 敗者復活A組3位

☆ねんりんピックびわこ☆ 5月25日

男子シングルスカル 安達 優勝、鶴瀬 準優勝

女子シングルスカル 長瀬 優勝

男子ナックルフォア 今村拓 優勝

女子ナックルフォア 太田弘 東暢子 上坂 小島 中出 優勝

☆全日本マスターズレガッタ☆ ※レース毎に順位が決まります 6月1日～2日

男子1×C(43歳～49歳) 大越 4位

男子1×D(50歳～54歳) 田中彰 優勝、三反崎 5位

男子1×E(55歳～59歳) 鶴瀬 4位

男子1×F(60歳～64歳) 青木 3位、下村 3位

男子1×G(65歳～69歳) 尾崎準 3位

男子1×H(70歳～74歳) 安達 優勝

女子1×E(55歳～59歳) 安藤 3位

女子1×F(60歳～64歳) 中出 優勝

女子1×G(65歳～69歳) 長瀬 優勝

女子1×H(70歳～74歳) 太田弘 2位

女子1×I(75歳～79歳) 中西 優勝

男子2×E(55歳～59歳) 宇野 木所 2位

女子2×C(43歳～49歳) 東典子 坂本春 優勝

女子2×D(50歳～54歳) 三登 東暢子 優勝

女子2×E(55歳～59歳) ショーバック真理子、長瀬 優勝

女子2×F(60歳～64歳) 尾崎幸、木下 優勝

女子2×G(65歳～69歳) 太田弘、盛田道 優勝

女子2×I(75歳～79歳) 中西、八木 優勝

混成2×C(43歳～49歳) 武良誠、武良美 3位

混成2×E(55歳～59歳) 鷹野 三登 優勝、木下 今城 2位

混成2×F(60歳～64歳) 尾崎幸 尾崎準 優勝、下村 中出 2位
 混成2×G(65歳～69歳) 安達 盛田 優勝
 男子4+D(50歳～54歳) 今村拓 宇野 黒田 丸岡 今城 2位
 男子4+F(60歳～64歳) 中村眞 三反崎 青木 佐々木高 尾崎準 優勝
 男子4×+C(43歳～49歳) 今村拓、黒田、田中彰、大越、丸岡
 男子4×+F(60歳～64歳) 青木、佐々木高、深田、中村眞、鷹野 優勝
 女子4×+C(43歳～49歳) 坂本春 武良美 ショーバック真理子 東暢子 築山 2位
 女子4×+G(65歳～69歳) 太田弘 八木 木村祐 上坂 中出 優勝
 混成4×+G(65歳～69歳) 太田弘 下村 青木 中出 中西 優勝
 男子8+F(60歳～64歳) 中村眞 鷹野 下村 副島 宇野 安達 鶴瀬 木所 青木 優勝
 女子8+E(55歳～59歳) 坂本春 東暢子 竹内 木下 安藤 三登 武良美 尾崎幸 盛田道 優勝
 男子KF E(55歳～59歳) 草野 宇野 青木 黒田 副島 2位
 男子KF F(60歳～64歳) 青木 下村 中村眞 佐々木高 深田 優勝
 女子KF E(55歳～59歳) 東暢子 木下 盛田道 中出 築山 優勝
 女子KF F(60歳～64歳) 坂本春 竹内 尾崎幸 三登 上坂 優勝
 女子KF H(70歳～74歳) 太田弘 中西 八木 木村祐 長瀬 優勝
 混成KF E(55歳～59歳) 太田弘 安達 ショーバック真理子 東暢子 今城 優勝

☆近畿高校ボート選手権大会☆ 6月8日～9日

男子1× 林(東山高校) 優勝

☆滋賀県民体育大会☆ 6月15日

成年男子1×(国体選考会) 奥村 11位

成年男子1× 狩谷 5位

成年女子1× 嶋 3位

高校男子1× 山根 C決勝1位

高校男子2× 井上貴 大山 準優勝、東虎太郎 柿木 予選1組4位

マスターズ男子1×50歳以上 鶴瀬 優勝

マスターズ男子1×60歳以上 尾崎準 優勝

☆京都ボート選手権☆ 6月16日

少年男子1× 林(東山高校) 決勝1着

成年女子1× 坂東 決勝2着

成年男子2× 山口将 決勝2着

成年女子2× 西原(プリントパック) 決勝1着

☆「海の森水上競技場」完成記念レガッタ☆ 6月16日

市町村男子KF 安達 下村 木所 渡辺 盛田悠 3位

市町村女子KF 草野 竹内 武良美 安藤 中出 1位

マスターズ女子4×+ 三登 東暢子 木下 盛田道 尾崎幸 1位

今村拓 八木 中西 太田弘 長瀬 3位

☆Beach Rowing Sprint Games 2019 Imabari☆ 6月29日～30日

男子ソロ(CM1×) 椎名孝 準々決勝敗退、鷹野 予選敗退、黒田 予選敗退

大越 予選敗退、丸岡 予選敗退

女子ソロ(CW1×) 北川 準々決勝敗退、武良美 予選敗退

☆全日本社会人選手権☆ 7月6日～7日

男子1× 井原 29位(E決勝5位)、椎名 31位(F決勝1位)、山口将 32位(F決勝2位)

飯田竜 33位(F決勝3位)

女子1× 西原(プリントパック) 準優勝、嶋 9位(B決勝3位)

男子1×50歳以上 京 5位、太田俊 9位(B決勝3位)

男子1×60歳以上 安達 3位、尾崎準 14位(C決勝2位)

- 男子2× 横田 飯田竜 8位(B決勝2位)
 男子4× 山口将 横田 4位
 女子4× 嶋 西原(プリントパック) 3位
- ☆関西選手権☆ 7月13日～7月14日
 男子1× 山口将 準決勝3組3位、井原 準決勝6組3位、飯田竜 準決勝6組4位
 山根 敗者復活2組4位
 女子1× 西原(プリントパック) 優勝、嶋 6位、今村美(香川大学)敗者復活1組2位
 男子1× 40歳以上 田中彰 準優勝
 男子2× 大山 井上貴 敗者復活2組4位
- ☆全日本中学選手権大会☆ 7月20日～21日
 男子1× 武良陽 予選J組5位
- ☆国体近畿ブロック予選☆ 7月21日
 少年男子1× 林颯一郎(京都選抜) 1位
 成年男子1× 山口将(京都選抜) 4位
 成年女子1× 西原(京都選抜) 1位、嶋(滋賀選抜) 3位
- ☆国体四国ブロック予選☆ 7月21日
 成年女子1× 今村美(香川選抜) 2位
 成年男子4+ 井原(香川選抜) 2位
- ☆滋賀県ジュニア選手権☆ 8月3日～4日
 中学男子1× 武良陽 予選1組5位
 エキシビジョン1× 山根 2位
 高校男子2× 井上貴、大山 準優勝
- ☆世界ジュニア選手権☆ 8月7日～11日
 男子2× ニューゼaland(SHACKLETON SCOTT, MILLER, KOBE) 7位
 女子4- ニューゼaland(WYLAARS SALLY, BURRELL LUCY, MILLS ALISON, DARRY CHARLOTTE) 5位
 男子4× ニューゼaland(THOMPSON WILLIAM, NEL JASON, HOPE SETH, MASON BENJAMIN) 6位
 女子4× ニューゼaland(TROLOVE PHOEBE, MIRFIN SHAKIRA, LEIGH REBECCA, HOFMANS EVA) 優勝
 ※倶楽部を拠点に事前合宿を行った選手の成績
- ☆全日本高等学校選手権競漕大会(インターハイ)☆ 8月17日～20日
 男子1× 林颯一郎(東山高校) 優勝
- ☆全日本大学選手権大会(インカレ)☆ 9月5日～8日
 女子1× 今村美(香川大学) 敗者復活A組3位
- ☆オックスフォード盾レガッタ☆ 9月7日～8日
 男子8+ 倉本 山口将 横田 湯 高谷 飯田竜 井原 準決勝D組3位、京(パルテ会) 敗者復活A組4位
 鷹野(東京大学淡青会) 予選F組2位※コース状態悪化により敗者復活中止
- ☆FISAワールドマスターズレガッタ(ハンガリー:ヴェレンス湖)☆ 9月11日～15日
 男子E 1×(55～59歳) 下村 5位
 女子E 1×(55～59歳) 安藤 8位
 男子F 1×(60～64歳) 安達 3位、下村 6位、植田 8位
 女子F 1×(60～64歳) 長瀬 5位、中出 7位
 男子G 1×(65～69歳) 安達 3位
 女子G 1×(65～69歳) 長瀬 6位
 男子H 1×(70～74歳) 安達 優勝
 女子E 2×(55～59歳) 中出 安藤 6位
 男子F 2×(60～64歳) 安達 ※品川リフレクトリーズと混成 優勝、下村 ※NSRCと混成 7位
 男子G 2×(65～69歳) 安達 ※魚崎RCと混成 5位
 女子H 2×(70～74歳) 中西 太田弘 2位

男子E 2-(55~59歳) 下村 植田 8位
男子E 8+(55~59歳) 下村 ※NSRCと混成 6位
女子G 4×(65~69歳) 中西 太田弘 長瀬 安藤 5位
混成H 2×(70~74歳) 安達 長瀬 2位
混成G 8+(65~69歳) 下村 中西 中出 安藤 6位 ※カナダ、オーストラリアとの混成
混成H 8+(70~74歳) 安達 ※インターナショナルクルー 2位

※レース毎に順位が決まります

☆びわ湖レガッタ☆ 9月21日~22日

高校男子1× 林颯一郎(京都選抜) 準優勝、男子1× 奥村 予選2組5位
40歳以上1× 田中彰 優勝、京 準優勝、狩谷 4位、男子2× 井原 準決勝2組5位、
男子4+ 橋爪 山本恭 西澤 池端 根岸 5位、女子4×+ 猪飼 北川 西村 藤岡 坂東 3位
マスターズ男子8+ 中村真 黒田 奥城 青木博 鶴瀬 佐々木高 中井 太田俊 尾崎準 優勝

☆全国市町村交流レガッタ☆ 9月28日~29日

熟年女子 中西 太田 長瀬 木下 東暢子 三登 優勝

☆茨城国体☆ 10月4日~7日

少年男子シングルスカル 林(京都選抜) 5位

※天候不順のため、成年の部は記録なし、少年の部は準決勝1位通過が1位、準決勝2位通過が5位

☆かいつぶりレガッタ☆ 10月5日

男子マスターズ 三登 中村真 深田 千葉 岩見 3位
ビギナーミックス 太田弘 田中彰 尾崎準 田中明 尾崎幸 3位

☆京都レガッタ一般の部☆ 10月14日

男子1× 高谷 準優勝、丸岡 敗者復活2組4位、湯 予選1組2位、女子1× 嶋 準優勝
50歳以上男子1× 京 優勝、安達 3位、鶴瀬 敗者復活3位
40歳以上女子1× 長瀬 優勝、中西 準優勝、
男子2× 井上貴 大山 5位、黒田 飯田 6位
混成2× 尾崎準 尾崎幸 優勝
男子4+ 八木 下村 木所 青木 安達 敗者復活2組3位
男子4- 倉本 山口将 湯 井原 予選2組※オープン参加
男子50歳以上KF 安藤 佐々木高 深田 千葉 中村真 準優勝
女子40歳以上KF 太田弘 小島 上坂 木村祐 中出 準優勝
男子8+ 橋爪 狩谷 根岸 山本 木村俊 田中彰 池端 大越 中 敗者復活5位

☆全日本新人選手権☆ 10月25日~27日

女子1× 嶋 準決勝B組3位
男子2× 林颯一郎(洲本高校)※混成 6位、井上貴 大山 敗者復活J組2位

☆Head of The JINZU☆ 11月4日

オープン男子1× 安達 4位(総合44位)、下村 5位(総合49位)、鶴瀬 7位(総合64位)、太田俊 8位(総合66位)
オープン女子1× 長瀬 優勝(総合74位)、安藤 2位(総合82位)、中西 3位(総合83位)、太田弘 4位(総合85位)
チームボート 飯田竜 西澤 山本恭 井上貴(4×) 優勝、赤城 横江(2×) 3位、尾崎準 尾崎幸(2×) 7位
木下 三登(2×) 10位

☆Head of The Seta☆ 11月16日~17日

男子1× 飯田竜 16位、家村 18位、奥村 27位
女子1× 西原(プリントパック) 優勝、嶋 7位
男子1× 50歳以上 鶴瀬 6位
男子1× 60歳以上 下村 3位、植田 5位、深田 8位
女子1× 60歳以上 長瀬 優勝、木下 2位、男子1× 70歳以上 安達 優勝
女子1× 70歳以上 太田弘 優勝、中西雅 2位
男子2× 根岸 9位、尾崎準 尾崎幸 15位

男子4+ 杉藤洋 武良誠 香川(半世紀倶楽部) 6位、鷹野(漕緑会) 9位

女子4× 三登 武良美 盛田道 東暢子 4位

男子8+ 今村(びわローレインボー) 13位

ナックルフォア 安藤(with You 神鷹) 2位

コースタルシングル 椎名(横浜漕艇倶楽部埼玉) 1位

☆全国高体連通信制20分エルゴ☆

高校男子 大山 5,366m 129位、井上貴 5,017m 833位

☆Head of The ARA☆ 11月24日

男子1×(代表選考) 奥村 76位

女子1×(代表選考) 西原 5位

[2] 2019年度会計報告

1.平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 (単位:円)

平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書						
(H23NPO会計基準で表示)						
科	目	平成31年1月1日から令和1年12月31日まで				
		予算額		決算額		差異
I 経常収入の部						
1	会費、入会金収入					
	会費	5,670,000		5,435,000		235,000
	入会金	600,000	6,270,000	540,000	5,975,000	60,000
						295,000
2	受取寄付金					
	賛助金(個人)	378,000		414,000		△ 36,000
	賛助金(法人)	100,000		200,000		△ 100,000
	一般寄付金(その他)	0	478,000	0	614,000	0
						△ 136,000
3	受取助成金					
	受取助成金	600,000	600,000	50,000	50,000	550,000
						550,000
4	事業収入					
1	マシニング近畿大会	1,600,000		1,765,800		△ 165,800
2	びわこ市民レガッタ	890,000		1,003,000		△ 113,000
3	Head Of The Seta	1,300,000		1,311,500		△ 11,500
4	市民教室(体験教室)	300,000		221,500		78,500
5	朝日レガッタコーチセミナー	150,000		65,000		85,000
6	レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	200,000		0		200,000
7	イベント支援(しじみ祭り)	95,000		0		95,000
8	クラブコーチ事業	870,000		727,510		142,490
9	MRエアロビ教室	0		23,500		△ 23,500
10	海外選手交流事業(MR)	0		1,822,701		△ 1,822,701
11	しがスポーツ大使事業	0		100,000		△ 100,000
12	NZジュニア交流事業	0		224,000		△ 224,000
13	スポット事業	0		0		0
	その他		5,405,000		7,264,511	△ 1,859,511
3	その他収益					
	受取利息	0		1,402		△ 1,402
	雑収益	0	0	40	1,442	△ 1,442
						△ 1,442
	経常収入合計		12,753,000		13,904,953	△ 1,151,953
II 経常支出の部						
1	事業費					
1	マシニング近畿大会	1,200,000		1,086,649		113,351
2	びわこ市民レガッタ	600,000		618,910		△ 18,910
3	Head Of The Seta	740,000		421,217		318,783
4	市民教室(体験教室)	50,000		7,310		42,690
5	朝日レガッタコーチセミナー	100,000		91,887		8,113
6	レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0
7	イベント支援(しじみ祭り)	0		0		0
8	クラブコーチ事業	2,700,000		2,702,604		△ 2,604
9	MRエアロビ教室	0		0		0
10	海外選手交流事業(MR)	0		1,540,144		△ 1,540,144
11	しがスポーツ大使事業	0		45,952		△ 45,952
12	NZジュニア交流事業	0		0		0
13	スポット事業	0		0		0
	その他		5,390,000		6,514,673	△ 1,124,673
2	管理費(倶楽部運営、管理諸費用)					
	給料手当	700,000		668,800		31,200
	レクレーション費	30,000		0		30,000
	会誌発行費	400,000		428,368		△ 28,368
	会議費	40,000		16,342		23,658
	交際費	20,000		5,000		15,000
	通信運搬費	30,000		28,293		1,707
	消耗品費	450,000		315,110		134,890
	保全費	1,000,000		591,381		408,619
	施設費	900,000		147,540		752,460
	水道光熱費	700,000		594,914		105,086
	減価償却費	3,000,000		3,245,837		△ 245,837
	保険料	120,000		154,188		△ 34,188
	諸会費	30,000		22,200		7,800
	租税公課	600,000		613,200		△ 13,200
	支払手数料	30,000		30,473		△ 473
	広告費	20,000		20,000		0
	強化費	400,000		251,350		148,650
	選手登録費	65,000		65,000		0
	雑費	400,000		0		400,000
	予備費		8,935,000		7,197,996	0
						1,737,004
	経常支出合計		14,325,000		13,712,669	612,331
III 経常外収益の部						
			0	0	0	0
IV 経常外費用の部						
	固定資産除却損		0	1	1	△ 1
						△ 1
	経常外増減額		0		△ 1	1
経理区分振替額						
	収益会計より繰入	100,000		0		100,000
			100,000	0	0	0
						100,000
	税引前当期正味財産増減額		△ 1,472,000		192,283	△ 1,664,284
	前期繰越正味財産		94,439,946		94,439,946	
	当期正味財産合計		92,967,946		94,632,229	

※別紙1参照

2. 平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表 (単位:円)

平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

令和1年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	147,205		
普通預金	22,465,649		
MR大会諸費用仮払金	676,884		
流動資産 合計		23,289,738	
2 固定資産			
建物	30,304,146		
構築物	1,896,316		
艇	1,124,234		
備品	611,336		
土地	24,000,000		
固定資産 合計		57,936,032	
3 投資その他の資産			
艇庫積立金	15,031,609		
長期前払費用	203,692		
固定資産 合計		15,235,301	
資産合計			96,461,071
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	323,150		
預り金	141,832		
MR大会前受金	1,363,860		
流動負債 合計		1,828,842	
2 固定負債			
	0		
負債合計		0	1,828,842
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		94,439,946	
当期正味財産増加額		192,283	
正味財産 合計			94,632,229
負債及び正味財産 合計			96,461,071

3.平成31年度「収益事業会計」活動計算書 (単位:円)

平成31年度「収益事業会計」活動計算書

平成31年1月1日から令和1年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 経常収益の部			
1 事業収益			
販売、サービス事業収入	1,776,627	1,776,627	
2 その他の収益			
預金利息 他	273	273	
経常収益 計			1,776,900
II 経常費用の部			
1 事業費			
事業収益原価	1,498,284	1,498,284	
2 管理費			
事務通信費	85,381		
その他の経費	1,838	87,219	
経常費用 計			1,585,503
当期経常増減額			191,397
経理区分振替額			
収益事業会計振替額			0
税引前当期正味財産増減額			191,397
法人税、住民税及び事業税			72,200
当期正味財産増加額			119,197
前期繰越正味財産額			5,109,839
次期繰越正味財産額			5,229,036

※5.収益事業会計報告 参照

4. 平成31年度「収益事業会計」貸借対照表 (単位:円)

平成31年度「収益事業会計」貸借対照表

令和1年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	92,972		
普通預金	5,081,344		
在庫商品	126,920		
売掛金	0		
流動資産 合計		5,301,236	
資産 合計			5,301,236
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	72,200		
流動負債 合計		72,200	
負債 合計			72,200
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		5,109,839	
当期正味財産増加額		119,197	
正味財産 合計			5,229,036
負債及び正味財産 合計			5,301,236

5. 収益事業会計報告 (単位:円)

2020年1月28日

収益事業会計報告

(2019年1月1日～2019年12月31日)

総括

前年度繰越

	(円)
現預金	5,136,577
売掛金・立替金	0
在庫	45,462
固定資産	0
NPO事業勘定	0
前受金	0
未払法人税等	△ 72,200
純資産	5,109,839

今年度決算

	(円)
現預金	5,174,316
売掛金・立替金	0
在庫	126,920
固定資産	0
NPO事業勘定	0
前受金	0
未払法人税等	△ 72,200
純資産	5,229,036

今年度
収益活動

次年度
収益活動

明細

品名	原価	売上金	粗利益		
			予算	実績	差額
ニールセンケラーマン社製品	340,527	395,400	100,000	54,873	45,127
冊子	749	6,300		5,551	△ 5,551
アパレル	344,768	418,350	120,000	73,582	46,418
レンタル事業	0	80,000	80,000	80,000	0
エルゴ	712,800	750,000	60,000	37,200	22,800
その他(※)	99,440	126,850	40,000	27,410	12,590
合計	1,498,284	1,776,900	400,000	278,616	121,384

雑収入(自販機)	0	13,635	0	13,635	△ 13,635
預金利息	0	12	0	12	△ 12
テント場所受取手数料	99,440	77,082	0	△ 22,358	22,358
送料差額収入	0	360	0	360	△ 30,940
施設利用料	0	35,500	0	35,500	△ 30,940
その他雑収入	0	261	0	261	△ 261
合計	99,440	126,850	0	27,410	△ 27,410

その他雑収入・・・前年度預金利息の源泉等還付等

共通経費	予算	実績
事務通信費		85,381
その他の経費		1,838
棚卸廃棄損	0	0
合計	0	87,219

特定非営利活動事業会計繰入金		0
未払法人税等(当期分)	72,200	72,200

当期収入額	1,776,900	
売上原価	1,498,284	
	278,616	粗利益
共通経費	87,219	
	191,397	税引前利益
法人税額	72,200	
	119,197	当期利益
特定非営利活動事業会計繰入金	0	
	119,197	収支差額

6. 平成31年度 財産目録 令和元年12月31日現在 (単位:円)

平成31年度 財産目録

令和1年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位:円)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金 (一般)	147,205	
現金 (収益)	92,972	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198794 (一般)	6,899,312	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.522662 (特別)	1,401,065	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.521114 (一般)	91,709	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198783 (収益)	1,311,494	
普通預金 滋賀銀行 膳所支店 No.512577 (収益)	84,531	
郵便貯金 普通通帳 (一般)	4,424,234	
郵便貯金 大会受付 (一般)	4,666,721	
郵便貯金 会費 (一般)	4,982,608	
郵便貯金 (収益)	3,685,319	
在庫商品(販売商品在庫高)	126,920	
仮払金(H31年MR大会経費分)	676,884	
流動資産 合計		28,590,974
2 固定資産		
固定資産		
艇庫積立金	15,031,609	
建物	30,304,146	
構築物	1,896,316	
艇	1,124,234	
備品	611,336	
土地	24,000,000	
長期前払費用(火災保険料他)	203,692	
固定資産 合計		73,171,333
資産合計		101,762,307
II 負債の部		
未払金(H31/R1年請求経費分)	323,150	
未払法人税等	72,200	
預り金(源泉所得税)	137,832	
預り金(H30年10/18入金 オオシタリヨウ)	4,000	
前受金(R2年MR大会収入分)	1,363,860	
流動負債 合計		1,901,042
負債合計		1,901,042
正味財産		99,861,265

以上の通り報告いたします。

2020年2月1日 会 計 坂本 春奈

以上、会計処理は、公正妥当に処理されており、
これら決算諸表は、適正に表示されている事を認めます。

監 事 太田 俊二

[3] 2019年度監査報告

監事 竹内英子

瀬田漕艇倶楽部の57年後を想像してみましょう。2077年のその時、瀬田漕艇倶楽部は創部して100年の倶楽部になります。残念ながら、私はその時代の倶楽部を見ることはできないけれど新しく入会した若い世代は可能でしょう。そんな私にできることと言えば、次世代の倶楽部に繋ぐべき有形、無形なことを若い世代に引き継いでもらうことです。色々な輪が出来つつある中で、更に大きな輪に広がるよう、会員の皆様の知恵と協力をお願いします。

・安全面

理事会において十分討議されて倶楽部のルールを決め、現場での意識を高めるべく取り組まれたことで、随分安全面においては良くなってきたように思うが、練習頻度が多くなったからか、艇への注意が足りないのか、艇の破損が多いように思う。舵手無し艇を常時使用する倶楽部でありながら、常時モーターボートによる伴走がいるわけでないの過去の事例を教訓にして注意して練習してほしい。特に担当はアクシデントリポート、インシデントリポートを確実に会員から提出してもらい、迅速に目を通し、会員と情報を共有する事で注意を喚起していただきたい。

・生涯スポーツ

倶楽部の熟年者のボート活動は活発になってきた。半面、若い世代のボート活動が減少傾向にあるのは問題だと思う。今年度も入会者と同数の会員が退会している現状を考える必要がある。倶楽部の三大事業としてのイベント活動については実行委員の声掛けで会員がスタッフなどに参加して大きな力になっている。全国マシンローイング大会での取り組み経験が他の事業に波及することを期待したい。レースへの参加、イベント活動参加、仲間との交流、健康への取り組み等を更に深めてほしい。折角倶楽部に来たときはエルゴやボートに乗艇して一緒に汗を流しましょう。

・アスリートの育成

少しずつジュニア選手の育成やシニア選手の育成が拡がりつつあるが、更に質の高い練習を行い選手層が厚くなるように、そして会員の中から倶楽部の顔となるアスリートを大勢育成してほしい。

・倶楽部の収支

詳しくは会計監事にお任せしますが、創部して43年過ぎた施設は何回かの建て替えやリフォームをしながら維持してきたなか、建物の修繕費、船台や用具の修繕費、人件費等が倶楽部の収支を圧迫している。過去には幾度も寄付金で賄ってきたが、収支のバランスを考えた運営をお願いしたい。引き続き収入を増やす努力をお願いしたい。

監事(会計) 太田俊二

- 1、2019年単年度の倶楽部運営や各事業での現金収支合計は、330万円であった。荒天で中止となったイベント支援(行内レガッタ、ユニバーサルウォーキング)で予定していた収入を加えると、これまで目標としていた350万円を達成したと言える。昨年度の実績は303万円で、今年度の目標達成に向けて各事業や日常の活動の中で、少しずつの工夫をお願いしたが、各事業の実行委員をはじめ、会員の皆さんの取り組みあったからこそ、達成できたと考える。
- 2、今年度も多くの会員が倶楽部に集まり、自身のRowingや倶楽部事業の活動で、とても賑やかであった。保全担当理事や施設担当理事が中心となって、施設や設備(艇・オール等)の修繕・更新を計画的に進めてくれているが、「壊れたらから直す」ということ当然とせず、施設や設備は、「大事に扱う、良い状態を保って長く使う」ことを心がけていただきたい。老朽化・経年劣化による支出は致し方ないが、一人ひとりが施設や設備を大事に扱うことで、後ろ向きな支出を極力少なくして、倶楽部を良くする、会員の活動を充実させるような投資に、貴重な資金を活用していくようお願いしたい。
- 3、収益事業でのこの3年間の収支は、下記の通りであり、今年度の利益(税引き前)は、19.1万円であった。今後の収益事業のあり方・方向性について、理事会等にて議論をお願いしたい。

	2017年度	2018年度	2019年度
収入	356.2万円	217.3万円	177.7万円
利益	39.7万円	27.2万円	19.1万円

[4] 2020年度役員(2020年改選、任期2年)

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 理事および監事

理事(代表)	黒田 士朗
理事(専務)	狩谷 悟史
理事(保全)	大越 将洋
理事(強化)	井原 一篤
理事(安全管理)	今村 拓也
理事(広報)	木村 俊紀
理事(施設)	中 俊久
理事(収益)	京 基樹
理事(普及)	三反崎 晋
理事(会計・財務)	坂本 春奈
理事(代表補佐、特命)	田中 彰
監事(事業)	竹内 英子
監事(会計)	太田 俊二

実行委員長及び審判長

びわこ市民レガッタ	中村 眞
Head Of The Seta	藤井 恒太
マシンローイング大会	阪口 雅弘 猪飼 更紗(2021年度~担当)
コーチセミナー	坂本 春奈
審判長	山崎 有紀

事務局

倶楽部事務担当	東 暢子
クラブ事業担当	鷹野 大郎
社会貢献事業担当	鵜瀬 正樹
管理・全般担当	今城 律雄

[5]活動計画(案)

将来のあるべき姿

- 1.全体 地域に根差した倶楽部となるべく、会員や家族はもとより、地域市民や国内外クラブとの交流の場として、活かした倶楽部運営・Furukawa House活用を実現する。また、スポーツの振興・普及に貢献する。「チャンピオンクルーから日曜スカラールまで」実現に向けた指導体制の確立。
- 2.安全 受傷事故絶対ゼロ。
- 3.保全 会員全体がクラブ設備・備品に対して共有物である事をしっかりと認識し、それらを保全することは倶楽部員共通の義務・責務であることについて高い意識を持つ。故障・不具合が出てからの事後対応ではなく、あるべき姿を前もって手入れする事によって維持する本来の意味として保全が出来る心構え、物の扱いを倶楽部員各自が持つ事を目指す。
- 4.施設 会員が自然と交流できる空間作り、近隣からも愛される環境整備、国内外に評価される施設作り。
- 5.事務 効率的な事務業務。組織として運営できる体制にする。
- 6.特別 びわこ市民レガッタ、Head of the Seta、マシンローイング大会を運営し、150万円の利益を得る。また、行政や地域諸団体とも連携し、大津・瀬田川の風物詩となるイベントに発展させる。
- 7.普及 季節毎に水上スポーツの普及イベントを開催する。
- 8.収益 年間100万円の利益を得る。
- 9.財務 正・賛助会員拡大に向けてのツール作成。会計フローの整理・定着化。
10. 広報 月一回の会報発行を継続。わかりやすいシンプルなホームページを提供。
- 11.活動 (1) 60人以上のアクティブメンバー(月に4回以上倶楽部に来る)が活動している。
(2) ボート常任コーチの設置とともに、ボート全日本選手権最終日に5クルー以上残る。
(3)一般市民が水上スポーツに触れ合う機会を提供する。

2020年度の具体的な活動計画

- 1.全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
三大事業を中心に運営を進める。より良い倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
- 2.安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
- 3.保全 整理整頓という基本的な事を皆で行える様、まずはあるべき姿を管理、そしてそれを維持する所から取り掛かる。またクラブの設備・備品で経年劣化して来ているものについて、皆でそれらに対する情報や意識を共有できる様になる。
- 4.施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
- 5.事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
- 6.特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
近畿マシンローイングA大会を運営し、参加者1,000人以上。
三大事業合計150万円以上の収支を得る。
プロ(有給)コーチによる、小学生ボート教室や会員向けコーチングを継続・拡大する。
- 7.普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
- 8.収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
- 9.財務 正・賛助会員拡大に向けてのツール作成。会計フローの整理・定着化。

10.広報 月一回の確実な会報発行。

11.活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金
 収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
 選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。
 杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

[6] 2020年度NPO法人瀬田漕艇倶楽部 年間事業計画 (案)

月	日	事業名	大会日程
1	19(日) 26(日)	JAPAN INDOOR ROWING 全員集合日	初漕会(1/2) 全国マシンローイング近畿大会(1/19)
2	24(月) 3/1(日)	定期総会 全員集合日	大津市民駅伝(2/2)
3	22(日)	全員集合日	全国高等学校選抜大会(3/20-22) 中川運河ロングレース
4	26(日)	ドラゴンボート体験(セタジミ祭) 全員集合日	西日本選手権(4/25-26) 中日本レガッタ
5	4(土) 24(日)	朝日レガッタコーチセミナー 全員集合日	朝日レガッタ(5/2-5) 滋賀県中学校春季総体(5/14) 京都府高校総体(5/16) 大津市民レガッタ(5/17) 全日本マスターズレガッタ(5/23-24) 大阪シティーレガッタ(5/30-31) 滋賀県高校春季総体(5/30-31)
6	28(日)	全員集合日	全日本社会人選手権(6/6-7) 関西学生新人レガッタ(6/6-7) 中学夏季総体(6/13) 関西選手権競漕大会(6/13-14) 近畿高校ボート選手権 滋賀県体兼国体予選・県民体育大会(6/20) 関西選手権競漕大会中学の部(6/20) 京都ボート選手権兼国体予選(6/21) 大阪府国体予選
7	26(日)	琵琶湖一斉清掃 びわこ市民レガッタ2020 事前練習会 全員集合日	全日本中学選手権(7/11-12) 国体近畿ブロック カヌー競技(7/11-12) 国体近畿ブロック ボート競技(7/19) 東京オリンピック(7/24-8/1)
8	23(日)	滋賀銀行内レガッタ支援 びわこ市民レガッタ2020 事前練習会 全員集合日	全日本高等学校選手権競漕大会(8/10-13) びわこペーロン大会 滋賀県ジュニア選手権(8/22-23)
9	12(土) 13(日) 27(日)	びわこ市民レガッタ2020練習会 びわこ市民レガッタ2020 全員集合日	びわ湖レガッタ(9/5-6) 全日本大学選手権大会(9/10-13) オックスフォード盾レガッタ(9/12-13) びわこ市民レガッタ(9/13) 全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会 国体ボート競技会(9/17-20) 京都レガッタ・高校の部(9/26) 京都レガッタ・一般の部(9/27)
10	25(日)	全員集合日	かいつぶりレガッタ(10/3) ドラゴンボート1,000m大会(10/4) 全日本選手権(10/8-11) 関西カヌースプリント選手権(10/16-17) 全国ボートクラブ選手権 中学秋季総体(10/16) 全日本新人選手権(10/23-25) 滋賀県高体連秋季大会(10/24)
11	14(土)-15(日)	Head of The Seta 2020 全員集合日	関西学生秋季選手権(11/初旬) ジャパンレディーズレガッタ Head of The Tsubata/ Jinzu (開催未定) Head of The Seta(11/14-15)

	22(日)		Head of The ARA
12	27(日)	クリスマスパーティー 全員集合日	滋賀・京都ボート協会安全講習会

初心者ボート体験教室：5～11月第2,4日曜日10:00～ アダルトチーム練習会：毎週土日 07:45～

上記日程は変更する場合があります。変更の場合は会報およびメーリングリストにて連絡します。

[7] 2020年度予算(案)

令和2年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動予算(案)

会費および寄付金等収入645万円に加えて、事業運営による10万円の利益を見込んでいる。一方、管理費795万円、事業費587万円、固定資産取得で本館、アネックス館の外壁塗装中心に515万円とNPO事業経常収支は、▲660万円の赤字予算となる。キャッシュフローベースでも▲290万円の赤字予算であるが、前期決算においてキャッシュフローベースで+355万円であり、前期と合算であるがキャッシュフローベースで+65万円となる。

倶楽部設立当初からのキャッチフレーズである「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」を実現すべく、倶楽部としてプロコーチを抱え、ジュニア層を含めた選手の指導体制を確立し、倶楽部からチャンピオンを輩出するための取り組みを継続していく。コーチのおかげもありNZJr.チーム、NTT東京の合宿受入済。また7月には東京オリンピック事前合宿地としてNZチームの受入を交渉中。今後は、コーチ事業単体でも黒字収支とし、コーチ事業も含めた利益で350万円を達成するための取り組みを進めていく必要があると考えている。

2020年度「特定非営利活動に係わる事業会計」収支予算(案)

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費、入会金収入		
会費	5,240,000	
入会金	600,000	5,840,000
2 その他収入		
賛助金	414,000	
賛助金	200,000	
一般寄付金	-	
収益事業活動収入繰入金		
預金利息		
強化補助費	-	
雑収入	-	614,000
3 事業収入		
MR大会	1,921,500	
びわこ市民レガッタ	600,000	
Head Of The Seta	1,350,000	
体験教室	300,000	
朝日レガッタ コーチセミナー	100,000	
レガッタ支援		
イベント支援(しじみ祭、ユニバ)	100,000	
ボート指導(プロコーチ)	700,000	
NTT東京合宿	268,000	
NZチーム合宿	500,000	
その他	120,000	
その他	-	5,959,500
経常収入合計		12,413,500

II 経常支出の部			
1 管理費(倶楽部運営、管理諸費用)			
給料手当	700,000		
レクリエーション費	50,000		
事務通信図書費	250,000		
会議経費	30,000		
交際費	20,000		
通信運搬費	30,000		
消耗費	300,000		
保全費	400,000		
施設費	800,000		
光熱費	700,000		
減価償却	3,500,000		
保険料	150,000		
租税公課	600,000		
支払手数料	30,000		
広告費	20,000		
選手登録費	75,000		
強化普及費	550,000		
漕艇通信発行費	280,000		
モーターボート維持費	20,000		
雑費	150,000		
		7,955,000	
2 事業費			
NZ交流事業	100,000		
MR大会	1,615,000		
びわこ市民レガッタ	500,000		
Head Of The Seta	600,000		
体験教室	250,000		
朝日レガッタ コーチセミナー	60,000		
ボート指導(プロコーチ)	2,700,000		
その他	50,000		
		5,875,000	
経常費用 計			13,830,000
当期計上増減額			▲ 1,416,500
税引前当期正味財産増減額			▲ 1,416,500
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増加額			▲ 1416500
前期繰越正味財産額			94,632,229
次期繰越正味財産額			93,215,729

固定資産及び投資等の予算(案)

科目	金額	
1 固定資産		
1.施設管理(クーラー)	250,000	
2.外壁塗装(本館)	3,700,000	
3.屋根塗装(アネックス)	1,200,000	
		5,150,000
2.投資等	0	0

クラブコーチング目標と収支予算(案)

クラブコーチ事業として、収入70万円、支出(コーチ報酬)270万円を計画しており、200万円の赤字予算となる。(大会での遠征帯同費等は、従来通り強化費として支出)

2020年度 収益事業計画(案)

1) ストロークコーチ類	8万円
2) アパレル関係	3万円
3) エルゴメーター	5万円
4) FMレンタル	0 円
5) その他	4万円
	計20万円

地域スポーツ文化の創造にチャレンジしています！

出会いを大切に、スポーツライフの充実に取り組み、自らの価値を高めます！